学校番号	1006

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の音楽２」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■音楽大学受験のための学習ではなく、音楽を幅広く学習するための授業です。
■音楽Ⅰの発展のため、音楽Ⅰを履修している生徒のための授業です。
■「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
■学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
■音楽知識を深めたい、歌唱・合唱・鑑賞・様々な楽器演奏に興味がある、という人はぜひ選択してください。
■アルトリコーダーを必ず持参してください。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
表現活動においては、音楽のよさや美しさを形づくっている要素を感じ取り、意図をもって表現する能力を習得する。鑑賞活動においては、音楽の特徴、文化的背景、演奏表現について理解し感じ取るとともに、根拠を持って批評することができる力をつける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身に付け、創造的に表している。	音楽の諸要素を知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	演奏の聴取 観察 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】 「糸」 「何度でも」 「見上げてごらん夜の星を」 (斉唱・合唱)	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関らせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	舞台芸術 ～ミュージカルの世界～	【鑑賞】 ミュージカル「キャッツ」	○			○	a:舞台芸術（ミュージカル）の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら、ミュージカルの特徴を理解して、音色のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	リコーダーアンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダーアンサンブル 「パイレーツオブカリビアン」	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律とハーモニーの特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:アルトリコーダーの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取
	箏に挑戦！	【器楽】 箏「さくら」 楽譜構成・編曲:石川憲弘	○	○	○		a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や様々な奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 ドイツ歌曲「野ばら」 作曲:F. シューベルト 作曲:H. ヴェルナー (斉唱・原語)	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関りに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	舞台芸術 ～オペラの世界～	【鑑賞】 オペラ「椿姫」	○			○	a:オペラの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形作っている要素を知覚、感受しながら、オペラの特徴を理解して、音色のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	ギターアンサンブルに挑戦してみよう	【器楽】 ギター演奏 「Stand By Me」	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:ギターアンサンブルをするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 「Amazing Grace」 「ありがとう」 (混声3部合唱)	○	○	○		a:混声３部合唱のハーモニーに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	歌詞の内容を感じ取り、歌に思いをのせよう	【歌唱】 「Schall We Dance?」 （合唱）	○	○	○		a:、歌詞の内容を感じ取り、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関らせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	グループで協力してアンサンブルに取り組もう	【器楽・歌唱】 アンサンブルに取り組もう 自由曲	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律とハーモニーの特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 c:様々な楽器の基礎的な演奏技能や、表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 アンサンブルの編成に合わせて、曲をアレンジしよう		○			b:アンサンブルの編成や、曲のリズムや特徴を理解しながら、ハーモニーバランスを考え、表現意図をもって課題曲をアレンジしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【鑑賞】 アンサンブル発表会 様々な編成のアンサンブル演奏を楽しもう	○			○	a:アンサンブルの発表を聴き、興味関心をもって、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:各グループのアンサンブルの工夫を知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。